

名古屋大学大学院環境学研究科・任期付正職員公募

1. 職種・人員： 研究員（任期付正職員） 1名
2. 所属： 名古屋大学大学院環境学研究科・地球環境科学専攻（大気環境・気候モデリング研究室）
3. 勤務地： 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山キャンパス
4. 専門・関連分野： 大気化学、植物生態学、気象学、気候モデリング、物質循環モデリングなど
5. 着任時期： 2014年7月1日以降のなるべく早い時期
6. 雇用期間： 2015年3月31日まで。審査により再任可（最長で2016年3月31日まで）。
7. 待遇： 年俸制（名古屋大学年俸制適用職員給与規定による）。文部科学省共済保険。
8. 募集の背景：

名古屋大学大学院環境学研究科（大気水圏科学系、大気環境・気候モデリング研究室）では、大気中の様々な物質循環を再現可能な大気化学・エアロゾル結合気候モデルの開発を行っています。このモデルは、対流圏・成層圏オゾンやメタンなどの微量気体、および各種エアロゾルの全球分布を計算することが可能であり、このモデルを用いて大気汚染・地球温暖化・オゾン層変動の定量的理解や将来予測等の研究を推進しています。

このたび、国立環境研究所および海洋研究開発機構との共同プロジェクト「大気化学・陸域生態系モデルの結合による CH_4 ・ N_2O の変動要因の解明」を実施するため、以下の通り、研究員（ポスドク相当）の募集を行います。

9. 業務内容：

全球化学気候モデルと陸域生態系モデルを組み合わせ、大気化学・陸域生態系結合モデルを開発し、衛星観測データ等によりモデル計算の検証を行う。さらに、本モデルを用い、大気微量成分・大気化学を介した大気・陸域生態系の相互作用を評価する。とくに、メタン (CH_4)、亜酸化窒素 (N_2O)、および BVOCs（植物起源揮発性有機炭素類）に焦点をあて、陸域生態系からの大気への放出（交換フラックス）や大気化学・気候の変動が各物質の全球分布・収支にあたる影響を定量化・整理する。

10. 応募資格：

- (1) 博士号取得者または着任時までに取得見込の方

（博士学位をお持ちでない方も受け付けることがありますが、待遇等は変わります。
詳細はお問い合わせ下さい）

- (2) 気象学・気候学、大気化学・エアロゾル、気候モデリング、陸域生態学、物質循環・生態系モデリングのいずれかの分野に精通し、研究実績のある方（数値モデル開発、データ解析、衛星データ解析等の研究経験を有する方を優遇します）

11. 応募書類：

- (1) 履歴書（写真貼付、様式自由）
- (2) 研究業績リスト（論文、総説、著書、受賞歴、外部資金獲得実績など、様式自由）
※論文および総説は査読の有無を明記し、また和文のものは和文で記載すること
- (3) 主要論文の別刷（コピー可）3編以内
- (4) これまでの研究内容と上記研究を行うにあたっての抱負・計画（A4用紙1～2枚程度）※とくに、上記業務内容・応募条件に沿って、どのように貢献可能かお示しく
ださい。
- (5) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（住所、電子メールアドレス、電話番号）

12. 応募締切：2014年5月9日（必着）

13. 書類送付先：

（メール添付の場合）

まとめてPDF化した上で、下記アドレス（須藤 健悟）までメール添付で送付（件名は【任期付正職員応募】としてください）

kengo@nagoya-u.jp

（郵送の場合）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科（環境共用館）
須藤 健悟 宛

※応募書類は返却いたしません。

※提出頂く書類は本公募のためだけに使用し、それ以外の目的には使用しません。

※本公募では、研究業績等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用致します。

14. 選考内容： 書類選考後に、必要に応じて面接をする場合があります。適任者がいない場合、決定を保留することがあります。

15. 問い合わせ先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科
須藤 健悟

電話： 052-789-4304

e-mail：kengo@nagoya-u.jp

<http://chaser.env.nagoya-u.ac.jp/~kengo/>

http://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/view/html/100003287_ja.html